

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

顎動脈と外側翼突筋の相対的位置関係の検討

研究計画

(1) 背景・意義

再発脳動脈瘤に対する治療としては血管内治療が行われることが多いですが、血管内治療のみでは根治が難しく、時にバイパス術を併用した血管内治療が必要になることがあります。今回当科では内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤の再発に対して顎動脈と橈骨動脈を用いたバイパス術を行った後にステントを留置した症例を経験しました。近年、顎動脈を用いたバイパス術の報告例がありますが、顎動脈を用いたバイパス術を行う場合、顎動脈の解剖学的な位置が重要となります。本研究では顎動脈の位置と隣接する外側翼突筋の相対的位置関係、および顎動脈の血管径を調べてバイパス術における顎動脈の使用について妥当性を検討しました。

(2) 目的

顎動脈と外側翼突筋の相対的な位置関係と顎動脈の血管径を調べることでバイパス術における顎動脈の使用の妥当性について検証しました。

(3) 方法

2023年から2024年に当院でCT Angiographyを行った100例200側(23歳～89歳、平均年齢60歳)に対して、顎動脈の走行を調べました。顎動脈が外側翼突筋の内側を走行するもの(内側型)・顎動脈が外側翼突筋を貫通するもの(貫通型)・顎動脈が外側翼突筋の外側を走行するもの(外側型)の3タイプに分類し、顎動脈の血管径の測定も行いました。

(4) 発表 (学会名又は論文投稿先、発表予定日時)

日本脳神経外科学会第83回学術総会 2024年10月16日～10月18日

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないよう匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

〒164-8541

東京都中野区中野 4-22-1

東京警察病院脳神経外科 吉野 正紀

Tel:03-5343-5611